
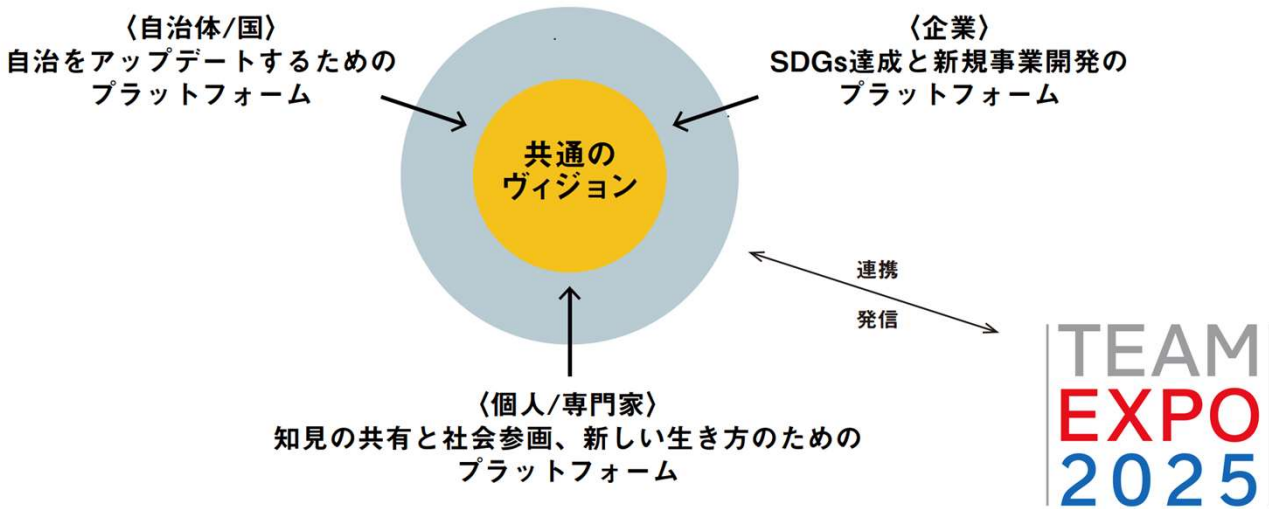


大阪・関西万博とともに推進するイノベーションプラットフォーム <b>Sustainable Innovation Lab</b>		<b>取組開始時期</b>	2020年9月	<b>取組の</b> <b>カテゴリ</b>	その他
<b>1. 団体名</b>	一般社団法人Next Commons Lab	<b>2. 連携先の</b> <b>団体</b>	公益社団法人2025年日本国際博覧会協会（大阪万博協会）、行政、企業、教育機関など		
<b>3. 取組</b> <b>目的</b>	分断から共存へ、平準から多様性へ。持続する社会モデルを追求し、新しい社会の基本OSをアップデート。		<b>4. 関連する</b> <b>ゴール</b>		

**5. 取組詳細（取組内容の詳細及び取組によって得られた成果、今後の方向性等）**

Sustainable Innovation Lab（SIL）は、Next Commons Labが大阪・関西万博とともに推進するイノベーションプラットフォームです。行政、企業、起業家などあらゆるセクターが交わり、それぞれの視点と知見を活かしあう協業を通じて、SDGsに包括的に取り組むプロジェクトを実験と実装を繰り返しながら展開していきます。万博が開催される2025年には、ここから生まれたアイデアと成果を世界に発信。さらにSDGsのゴールテープが待つ2030年、そしてその先につづく未来へと、まだ見ぬ社会をつくり出していきます。

## マルチセクターによる イノベーションプラットフォーム



**システムチェンジのための  
多様なアプローチとプロジェクトマッチングを可能にする**

### 取組のポイント（3つの視点）

**地方創生SDGsの視点**

SDGsを原動力にした地方創生を進めることで、政策の最適化が図られ、地域外の大手企業や起業家人材を地域に巻き込みやすくなり、地域課題解決を加速化させることが可能となる。

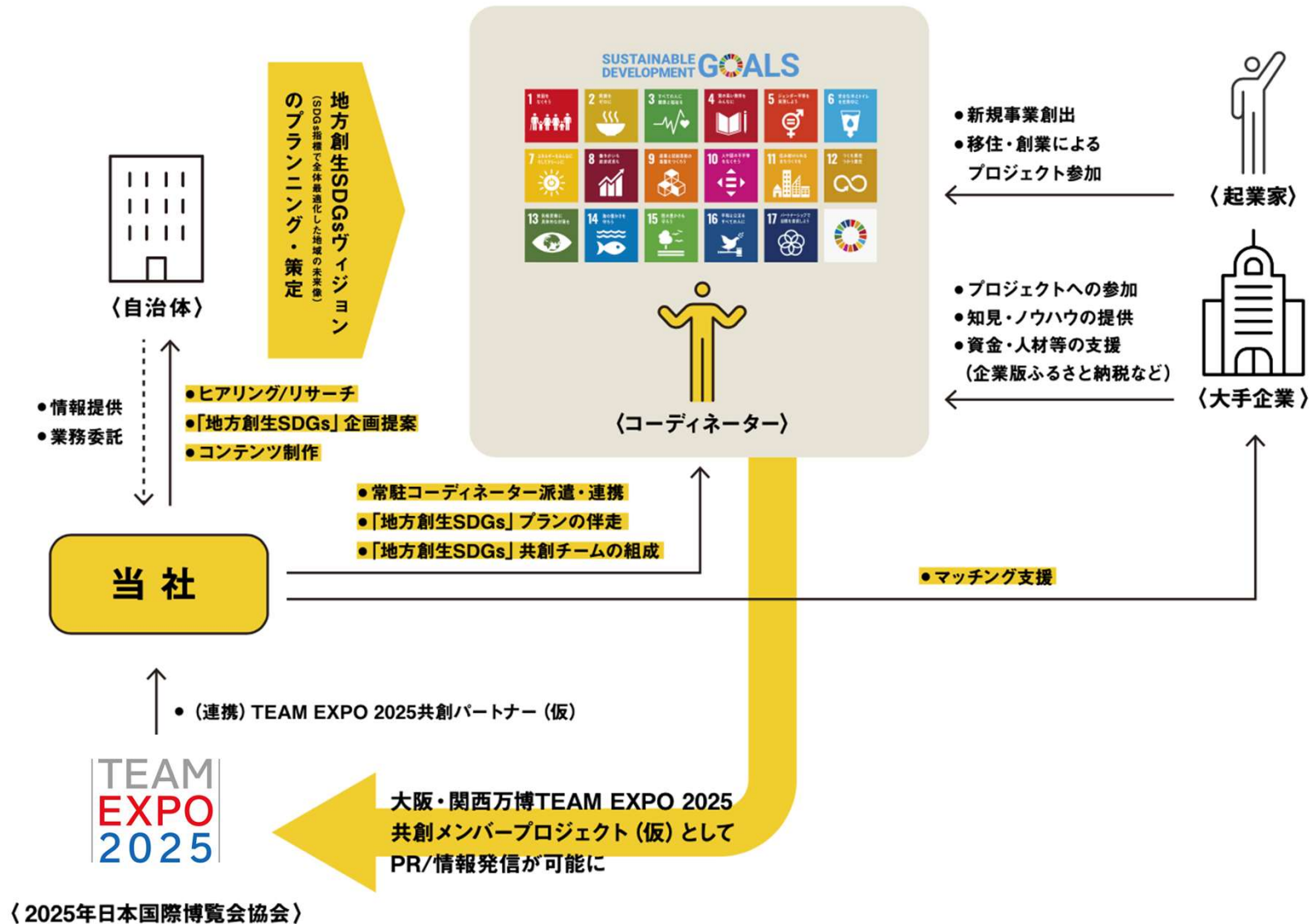
**ステークホルダーとの連携**

公益社団法人2025年日本国際博覧会協会（大阪万博協会）と連携しつつ、各地に「地域×企業×社会起業家」のプラットフォームをつくる。その際、行政、企業、教育機関など多様なステークホルダーと連携をする。

**モデル性・波及性**

現在、弊社は日本各地に90以上のローカルプロジェクトを組成し、国内11カ所、台湾1カ所に拠点がある。それらを基盤にモデルとなるスキームを構築し、全国各地、アジア圏を中心に5年間かけて多様な分野で実証実験と実装を行なっていく。

自由記述欄



【取り組みについて】Sustainable Innovation Lab Webサイト : <https://sustainablelab.com/>

【会社について】Next Commons Lab Webサイト : <http://nextcommonslab.jp>